

【和歌山県】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	和歌山県
担当課名	生涯学習局 スポーツ課
電話番号	073-441-3753

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	891,620人	部活動数	1,168部活
市区町村数	9市20町1村	都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置あり
公立中学校数	117校	都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み
公立中学校生徒数	23,209人		

実証事業に参加した市区町村数	1町
実証事業に参加した拠点校数(域内の合計)	2校
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数(域内の合計)	4部活

地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

<現状>

- 令和5年度における県内の部活動数は、運動部で1,168部が設置されており、ここ数年大きく変化していない現状がある。中には、専門の指導者が配置されていない部があり、当該競技の指導経験のない顧問教員の精神的負担が増大している現状もある。
- 令和6年2月に「和歌山県運動部活動指針」及び「和歌山県文化部活動指針」を統合し「和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針」を策定し、周知理解に努めている。
- 中学校体育連盟の主催大会への参加を希望し、中学校体育連盟の認定を受けた団体が、令和5年度の27団体から令和6年度に向けた申請では、38団体(令和6年2月現在)に増加。
- 地域スポーツクラブや地域クラブによる活動、地域の人材を活用した地域連携による学校部活動、従来どおりの学校部活動が混在している状況にある。

<課題>

- 県全体としては中学生のスポーツに関するニーズに全て対応できている状況にはない。
- 県の方針を参考に各市町村が中心となって協議する場を設置し、地域の実情に応じた環境整備に取り組めるよう、県が支援を行う。
- 今後は、地域クラブ活動への移行を目標としつつ、まずは休日の学校部活動から地域クラブへと移行することで、生徒の多様なニーズに応じた活動ができる環境整備を進めていく。

<中学生の生徒数及び運動部員数の推移>

	平成15年度	平成25年度	令和5年度
生徒数(人)	33,817	29,232	23,209
部員数(人)	23,583	19,569	13,560

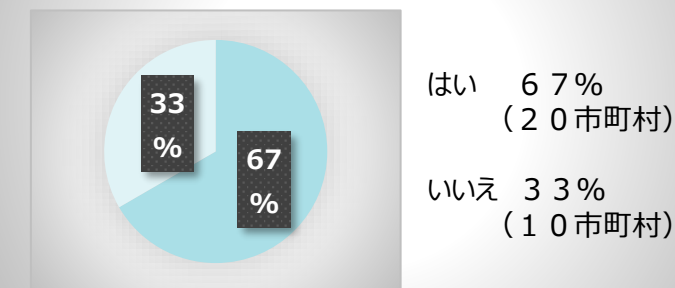
生徒数の減少に伴い、部員数も比例して減少

しかし、部活動数の顕著な減少がないことから、単一の部において人数が揃わず、十分な活動ができていない部もみられる。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
部数(部)	1,182	調査不実施 (コロナ長期休業のため)	1,166	1,178	1,168

出典：生徒数「平成15年度 平成25年度 令和5年度 和歌山県学校基本調査より」
 部員数「平成15年度 平成25年度 令和5年度 和歌山県学校体育調査より」
 部数「令和元年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 学校体育調査より」

Q 休日の運動部活動の地域連携・地域移行について、協議会の設置について検討を進めているか



出典：令和5年度11月実施の和歌山県実施の運動部活動における地域連携・地域移行等に係る意向調査を元に作成

2. 実証内容と成果 - 1

運営体制・役割

▼事業実施体制図（都道府県と市区町村における推進体制図）

【和歌山県】

- ・推進協議会の立上げ、運営
- ・地方別意見交換会の開催
- ・指導者を対象とした講習会の開催及び講習会情報の発信

・意見交換会、講演会等の開催
・情報の共有

【かつらぎ町への再委託】

- ・実証事業を実施

【各市町村】

- ・部活動の地域移行を推進

協力、連携し部活動の地域移行を推進

【和歌山県学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会委員】
学識経験者、中学校体育連盟、（公社）県体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、県校長会、PTA連合会、教職員組合、教育長会等の団体との連携

- ・委員所属団体からみた学校部活動の地域連携・地域移行について情報提供
- ・委員それぞれの立場で協議会での協議内容を情報発信
- ・方針の周知・理解促進

学校や地域の関係者との協議、意見交換、アンケート調査など

【学校】

【地域団体】
【指導者】

▼行政組織内での役割分担

●教育委員会（スポーツ課）

各市町村及び関係団体との連携、推進協議会の運営

●首長部局

※首長部局の関りは、令和6年度～

●関係団体との関わり方・役割

校長会 …校長への周知理解、教職員への周知理解

教育長会 …市町村行政との連携促進

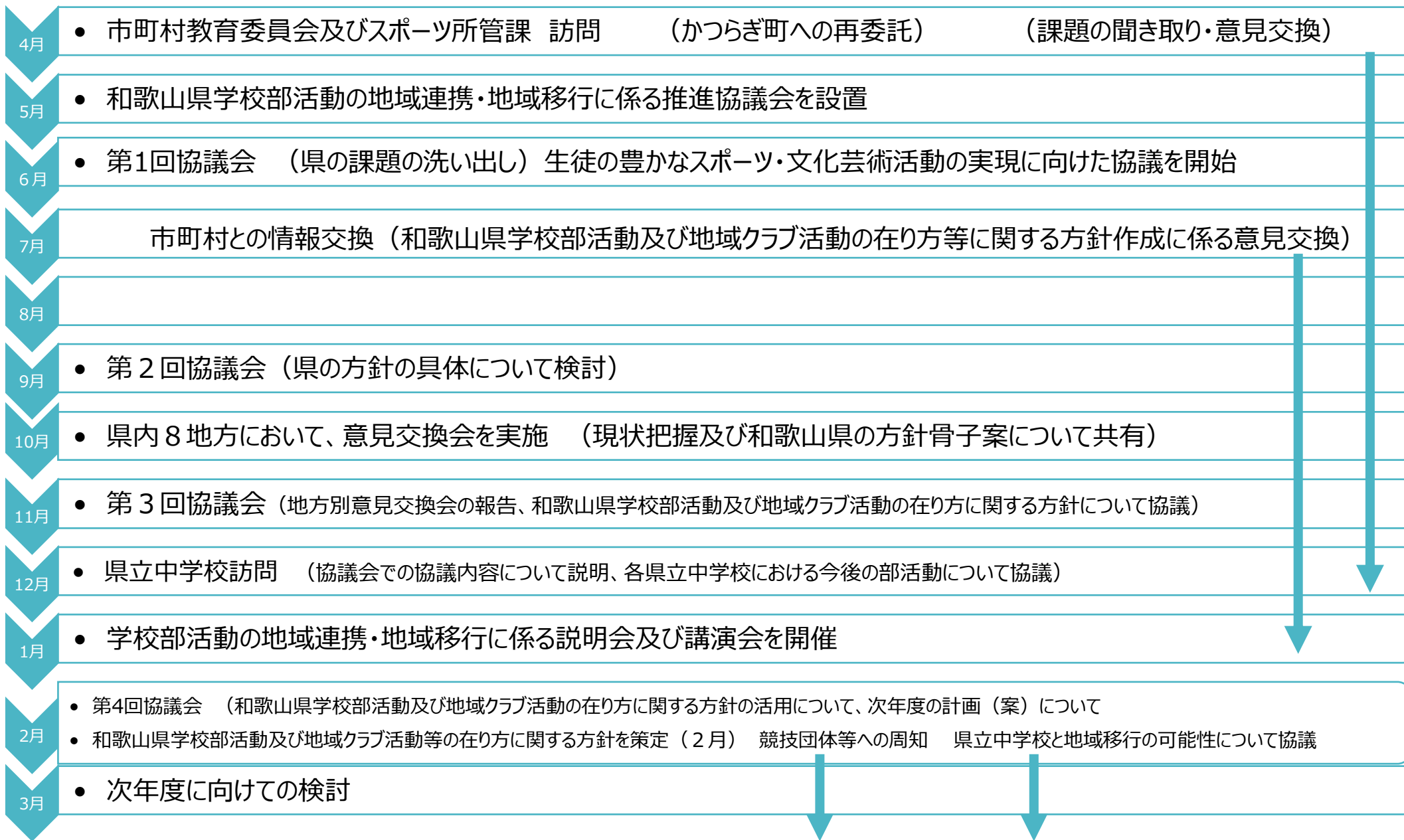
県体育協会 …スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等の団体との連携、推進協議会での意見具申、指導者の資質向上

和歌山県スポーツ推進委員協議会

…各市町村と地域との連携を推進、推進協議会での意見具申、指導人材の紹介

2. 実証内容と成果 - 2

年間の事業スケジュール



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・（県）推進協議会において運動部活動の現状や諸課題について協議
- ・各市町村の取組の状況を把握するとともに、県内8地方において地方別意見交換会を開催
- ・各市町村において、協議する場の設置の必要性等、効果的な取組に向けた指導助言

取組の成果

- ・ 和歌山県の学校部活動の在り方について、委員それぞれの立場から意見をいただき、成果物として「和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針」を策定することができた。今後は、国の方向性や県協議会等での検討を踏まえて、適宜見直しを図る。
- ・ 地方別意見交換会では、県の方針の骨子案を伝えるとともに、各市町村の状況や課題について意見交換することができた。
市町村担当者感想・・・難しい課題であるが、少しずつでも前に進めないといけない。まずは、地域、保護者、生徒、教員のニーズをつかみたいと感じた。



第3回推進協議会より

特に工夫した事項

- ・（県）推進協議会において、県内の地域移行の実施の際に課題となる点を共有した。また、各委員の所属団体等でのような取組ができるか求めた。
- ・ 10月に行った地方別意見交換会では、県担当者と市町村担当者間の繋がりを醸成するために、県内を8つの地方に分け、複数の市町村が一堂に会して協議した。
- ・ 推進協議会や意見交換会の協議概要や、説明会、事例発表及び講演会の感想や質疑応答について公開し、県内の状況や県内外の推進状況を広く知ってもらうために、県教育委員会HPを活用した。

1月23日(火) 学校部活動の地域連携・地域移行に係る講演会を開催しました

1月23日(火) 13:15~15:15
海南nobinosiにおいて、かつらぎ町及び上富田中学校の実践発表、環太平洋大学 友添 秀則氏による、「今求められる学校部活動の地域連携・地域移行」と題して講演会を開催しました。詳細は、報告書をご覧ください。

- ・ 開催案内 (PDF形式 856キロバイト)
- ・ 報告書 (PDF形式 1,014キロバイト)

第4回 学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会 New

令和6年2月5日(月)

第4回 学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会を開催しました。

- ・ 第4回協議概要 (PDF形式 563キロバイト)

和歌山県教育委員会ホームページより


今後の課題と対応方針

- ・ 地域の実情等に応じた地域クラブ活動の整備
- ・ 方針の周知・理解の促進とともに、全市町村における協議する場の充実に向けた指導助言
- ・ 指導者及び指導者の質の担保のための研修等を企画
- ・ 県立中学校におけるニーズ調査・検証の支援


2. 実証内容と成果 - 1

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

和歌山県学校部活動及び
地域クラブ活動の在り方等に関する方針
—生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現を目指して—



【県方針】



和歌山県教育委員会
令和6年2月

【県教育委員会HP】

【和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針】

部活動の地域連携・地域移行 New!!

和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針について

学校部活動については、少子化が進展する中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にあります。また、専門性や意思に関わらず教員が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校における働き方改革が進む中、より一層厳しくなります。

このような中、少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指し、学校部活動の地域連携・地域移行に係る和歌山県の方向性や新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について方針を策定しました。

なお、平成30年4月策定の「和歌山県運動部活動指針」と、令和元年12月策定の「和歌山県文化部活動指針」は、本方針に統合します。

【和歌山県教育委員会ホームページ】

第4回 学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会 New

令和6年2月5日(月)

第4回 学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会を開催しました。

📄 第4回協議概要(PDF形式 563キロバイト)



第3回 学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会

令和5年11月20日(月)

第3回 学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会を開催しました。

📄 第3回協議概要(PDF形式 269キロバイト)



第2回 学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会

令和5年9月5日(火)

第2回学校部活動の地域連携・地域移行に係る推進協議会を開催しました。

📄 第2回協議概要(PDF形式 216キロバイト)



学校部活動の地域連携・地域移行に係る地方別意見交換会

令和5年10月3日～19日

学校部活動の地域連携・地域移行に係る地方別意見交換会を開催しました。

📄 開催要項(PDF形式 135キロバイト)

📄 質問事項への回答(PDF形式 876キロバイト)



過去の協議会

📄 第1回協議概要(PDF形式 176キロバイト)



【ホームページでの情報発信】

2. 実証内容と成果 - 2

和歌山県学校部活動の地域連携・地域移行に係る講演会 案内

「今求められる学校部活動の地域連携・地域移行」 ～持続可能な体制整備に向けたビジョンとミッション～

講師 環太平洋大学教授 友添秀則先生

学校部活動の地域連携・地域移行が全国的に進む中、行政や学校、地域スポーツクラブ等それぞれに求められることは、未来のことを一緒に考えてみませんか。

日 時 令和6年1月23日(火)

13時15分～15時30分

場 所 海南 nobinos ノビノスホール

(海南市日方1525-6)

定 員 130名

申込期限 1月19日(金)

QRコードまたは、下記申込 URL からお申し込みください。

※ 手話通訳等の配慮が必要な場合は、12月28日までに申し込みください。



申込 URL: <https://forms.gle/Xk2XBhECoBMD3Eb59>

※すでに出席を申し込まれた行政関係者の方は、再申込の必要はありません。

QRコードは、(株)デンソー
ウェブの登録商標です

- その他
- ・ 基本的な感染症対策にご協力ください。
 - ・ 発熱などの症状がある場合は、参加をお控えください。
 - ・ 災害・気象状況等により変更や、中止する場合、和歌山県教育委員会ホームページで案内します。

【主 催】 和歌山県教育委員会

【問合せ】 和歌山県教育庁生涯学習局スポーツ課生涯スポーツ班 (平日9時～17時45分)

TEL: 073-441-3753 (担当: 中岡)

Eメール: nakaoka_a0024@pref.wakayama.lg.jp

住 所: 和歌山市小松原通1-1

【講演会案内】

学校部活動の地域連携・地域移行に係る説明会及び講演会 報告

- 趣 旨 国や県の方針を説明するとともに、実践例について共有し、各市町村担当課と情報共有を図ることで、学校部活動の地域連携・地域移行を円滑に進める。
- 主 催 和歌山県教育委員会
- 日 時 令和6年1月23日(火) 10時30分から15時30分まで
- 会 場 海南 nobinos (ノビノス) ノビノスホール
- 対象者 市町村教育委員会部活動担当者、市町村スポーツ主管課担当者等
<午後の講演会>上記各担当者及び学校関係者や地域スポーツ指導者等



①【解説】

和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針について
県教育庁生涯学習局スポーツ課
指導主事 中岡 暁紀

②【発表】 教育行政の実践例

かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行について
かつらぎ町教育委員会 教育長 池田 八主雄 氏



③【発表】 校長の実践例

今後の部活動の在り方について
上富田町立上富田中学校 校長 小川 裕史 氏

④【講演会】

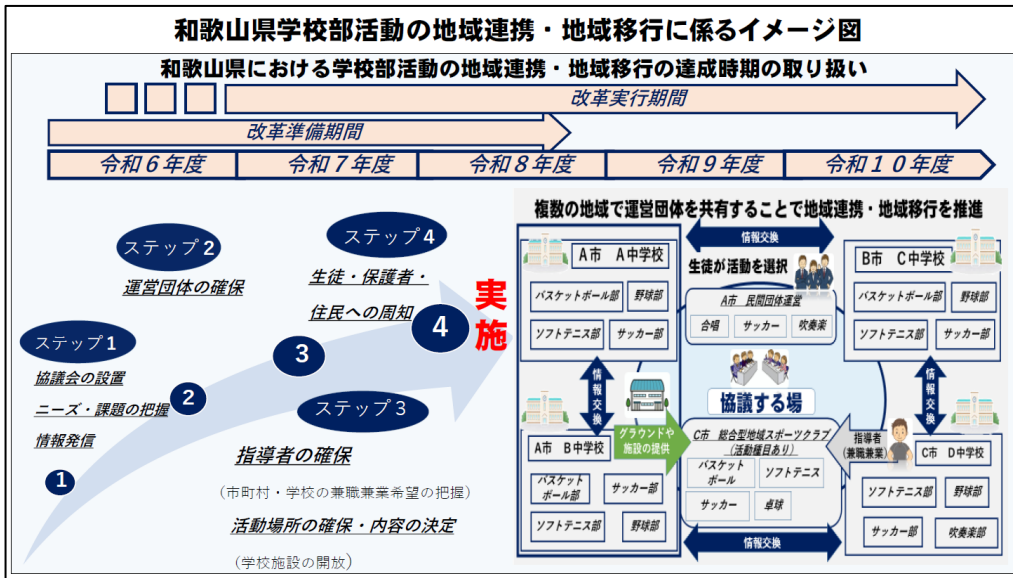
今求められる学校部活動の地域連携・地域移行
～持続可能な体制整備に向けたビジョンとミッション～
環太平洋大学 教授 友添 秀則 氏



【学校部活動の地域連携・地域移行に係る説明会及び講演会報告書より抜粋】

2. 実証内容と成果 - 3

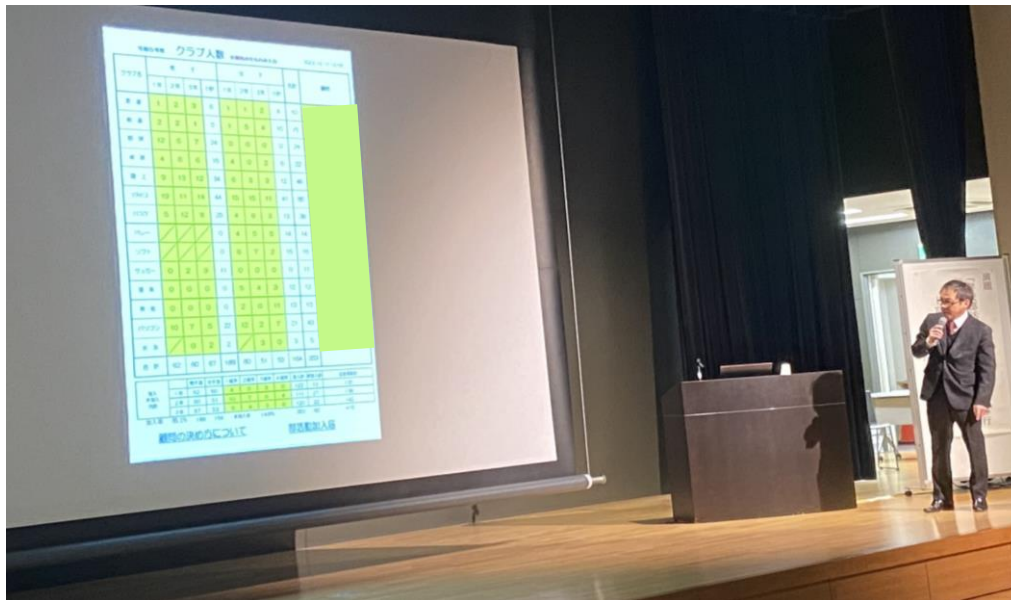
参考資料 (活動写真)



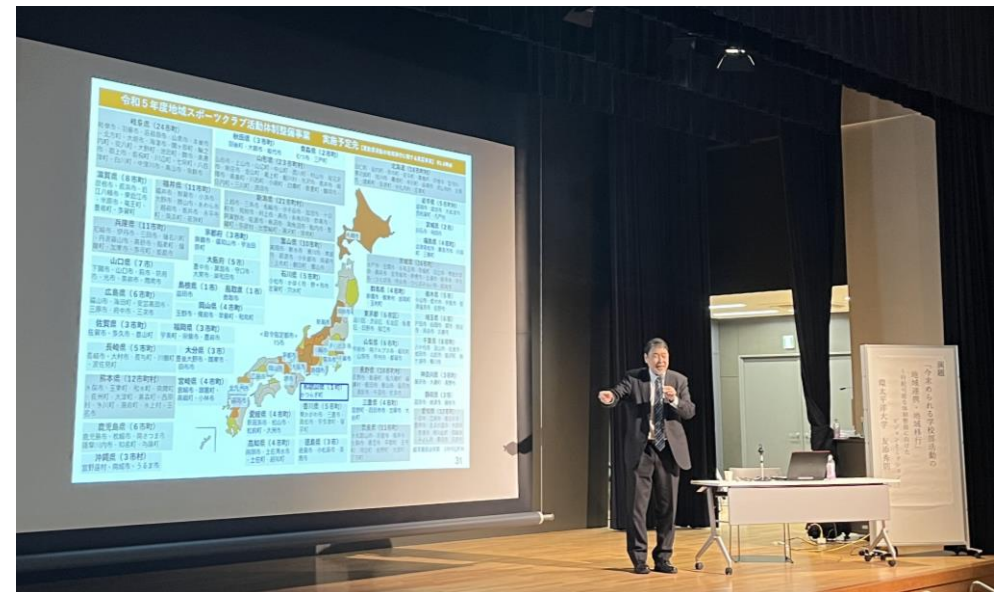
【協議会で提案したイメージ図】



【1/23開催 かつらぎ町による事例発表】



【1/23開催 上富田町立上富田中学校長による事例発表】



【1/23日開催 友添秀則氏による講演会】

3. 和歌山県における今後の目指す姿と方向性 - 1

【目指す姿】

和歌山県における生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現

- ・ 生涯にわたって豊かなスポーツ・文化芸術活動に親しむための環境の確保
- ・ 新たなスポーツ・文化芸術環境の整備

【取組の具体】

● 地域連携

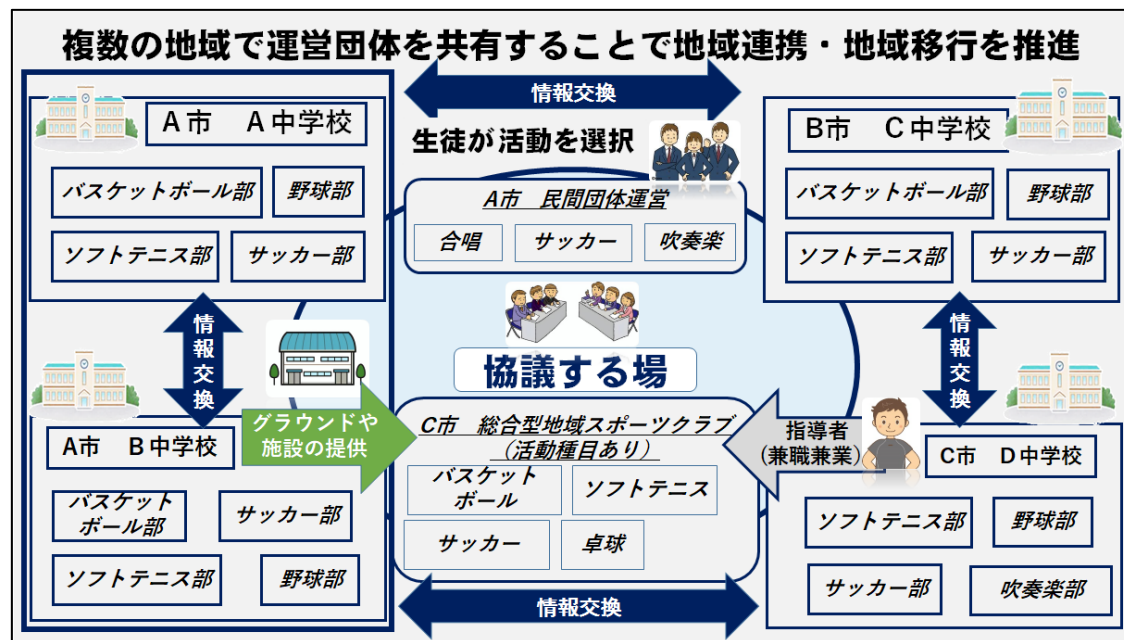
- ・ 部活動の指導者として地域の人材を活用
 - ・ 複数校による合同部活動の実施
- } 地域の実情に応じ、地域との連携を積極的に進める

● 地域移行

・ 地域の運営団体、実施主体による地域クラブ活動への移行などの環境づくりに向け、まずは休日の学校部活動について、地域や学校の実情等にも十分に配慮しながら、段階的に推進

※ 合意形成や条件整備等のために時間を要する場合があることも想定されるが、生徒の活動機会の確保に向け、地域の実情に応じて、丁寧に取り組むことを推奨

※ 具体的には、在校生徒やその保護者、今後、入学予定である小学生やその保護者への理解を得ながら段階的に推進



和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針P14 より引用
 生徒にとって望ましいスポーツ環境となるよう、近隣の市町村や近隣校と連携することで、適正な運営や効果的・効率的な活動を推進

3、和歌山県における今後の目指す姿と方向性－2

【休日の部活動の地域連携・地域移行の達成時期の取り扱い】

- ・ 令和6年度から令和8年度を地域連携・地域移行の改革準備期間と定める。
- ・ 令和10年度までを地域連携・地域移行の改革実行期間と定める。
- ・ 令和10年度までに地域クラブ活動の充実を目指す

時期	活動の範囲	備考
令和6年度	各市町村で地域連携・地域移行に関して検討する場を設け、生徒が生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保や新たなスポーツ・文化芸術環境の整備を検討することを支援する。	学校部活動において、地域へ移行を目指す
	各市町村で実証的に少なくとも1部活動以上の地域連携・地域移行を目指すことを支援する。	
令和8年度	各学校で少なくとも1部活動以上の地域移行を支援する。	地域での活動の充実を目指す
	各学校で複数の部活動の地域連携・地域移行を支援する。 各市町村で年度末までに地域連携・地域移行に関する方針等を作成することを支援する。	
令和10年度	各市町村が、地域の実情に応じて、地域・学校で持続可能な活動を実施する。	

和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針を一部再構成

3. 和歌山県における今後の目指す姿と方向性－3

地域連携・地域移行の推進に向けたスケジュール（案）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の設置、運営 和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針作成 県協議会での検討内容発信 意見交流会の実施（紀北・紀南各地域） 好事例研究 	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針周知 好事例の紹介 		<p>令和8年度までに、各市町村が持続可能な地域クラブ活動の運営体制を整えることができるよう、県の支援体制を整備する。</p>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 【国費】実践研究を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会等の設置、運営 ニーズや課題の把握 学校部活動地域連携・地域移行 	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定 運営団体確保 	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所 活動内容 生徒・住民への周知 <p>持続可能な地域クラブ活動への連携・移行を進めることができるよう支援する。</p>
学校		<ul style="list-style-type: none"> 市町村担当者との連携 学校検討委員会等を活用し地域連携・地域移行を推進 地域クラブとの連携 		
団体		<ul style="list-style-type: none"> 学校と連携 運営団体の強みを生かした、運営形態で、地域クラブ活動を提案 		

和歌山県学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針より

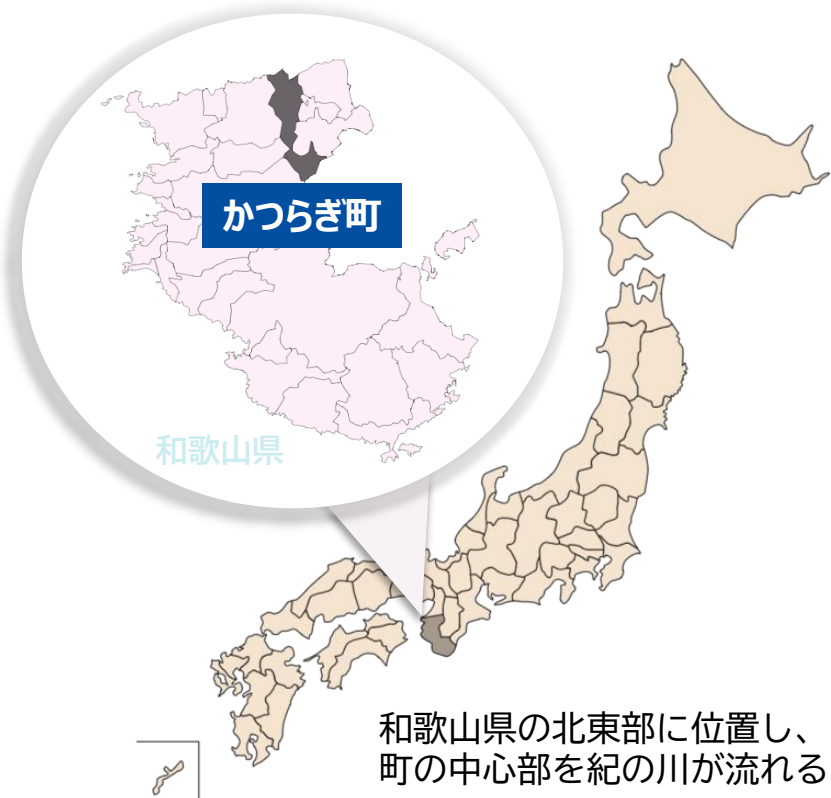
**【和歌山県かつらぎ町】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	和歌山県かつらぎ町
担当課名	教育委員会教育総務課
電話番号	0736-22-8347

1. 自治体の基本情報

基本情報

和歌山県かつらぎ町について



- 人口 **15,625人**(R5. 12末)
- 町域 東西14.7km、南北29.3km
- 面積 151.69km²。
- 学校 **小学校5校・中学校2校**
- 全児童生徒数 **1,029人**(R5. 5. 1現在)

かつらぎ町立中学校(2校)の部活動の概要



かせだ
笠田中学校

みょうじ
妙寺中学校
(生徒数162人)

【運動部】

- 野球(合同)
- 卓球(男)
- ソフトテニス(男女)
- バレーボール(女)
- バスケットボール(男)
- 陸上

【文化部】

- 吹奏楽
- 美術・ボランティア

体育部：6種目7部
文化部：2種目2部

【運動部】

- 野球(合同)
- 卓球(男)
- ソフトテニス(男女)
- バレーボール(女)
- バスケットボール(男女)
- **【陸上】**
- 剣道(R5～休部)

【文化部】

- 吹奏楽
- 文芸

体育部：7種目9部
文化部：2種目2部

※部活動の地域移行に係る推進協議会設置 (令和4年度)

1. 自治体の基本情報

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

- 近年の急速な少子化の進展により、学校ごとのチーム編成が困難になったり、部活動の競技数の減少
- 競技経験の少ない教師が指導したり、休日の活動や勤務時間を超過した指導等、教職員の働き方改革の視点からも体制の見直しが必要
- 地域のスポーツ団体や保護者の方々と学校との連携・協働が十分でない

今年度はかつらぎ町内の2中学校で4つのクラブで地域人材による指導を行った。現況については、当該部活動在籍の生徒からは地域の指導者より専門的な指導を受けることができるなど、好評である。特に、陸上部がなかった妙寺中学校に、生徒の強い要望により、地域の指導者が100%指導する「妙寺クラブ」を設置した。また、地域のスポーツクラブとして、本町生徒に加え近隣の橋本市、九度山町の生徒が加入するバレーボールチーム（「ブルッラ」）を今年度新たに本町の地域クラブとして指定し、来年度中体連大会に参加予定である。また、陸上及び卓球においては、休日に加え平日（陸上は火曜日と木曜日、卓球は水曜日）に地域指導者が指導を行ったことも大きな成果である。

今年度生徒・保護者・地域指導者・教員を対象におこなったアンケートでは、教員のなかで、地域移行の制度を理解し積極的にこれを推し進めようと高い意識を持つ者と、逆に制度に対し後ろ向きな者とに分かれており、今後も繰り返し説明をおこないながら事業を進めていく必要がある。

持続可能性については、生徒数の減少から、現在の部活動をそのまま将来にわたって確保し続けることは難しく合同チームを作ることや、地域移行を推進していくことで、持続可能な部活動環境を整えていく必要がある。

今後、地域運動部活動を推進していくには、以下の課題に対応する必要がある。

- ・地域人材の確保、マッチングする仕組みの構築
- ・生徒への適切な指導に必要な地域人材の研修の実施
- ・平日と休日の一貫指導のための連携・協力体制の構築
- ・費用負担のあり方の整理
- ・生徒の部活動環境充実に向けた学校と地域の協働体制の構築
- ・活動場所の確保、連絡調整
- ・移動方法の確保、連絡調整

1. 自治体の基本情報

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

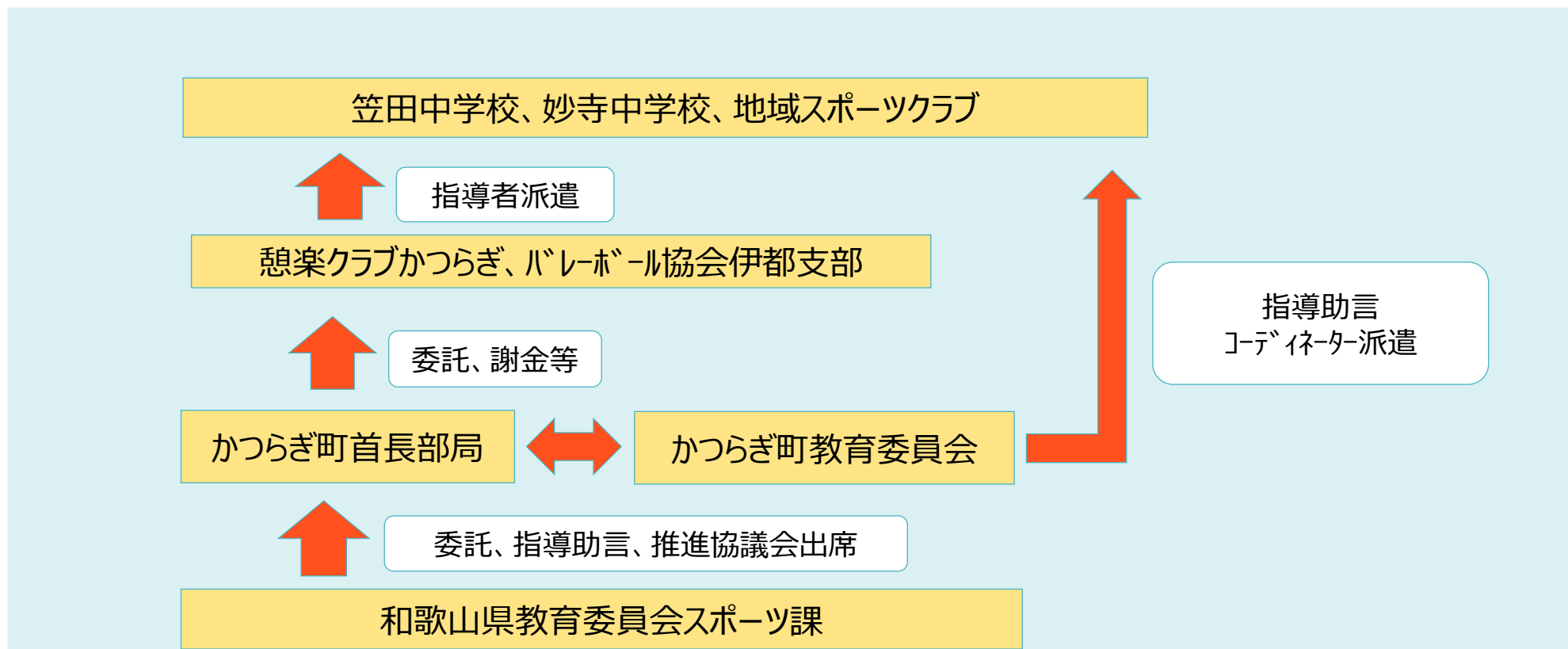
指導回数・指導時間等（4月～2月）

No.	学校名 チーム名	競技名	指導者	指導者の属性	指導 回数	指導 時間
1	笠田中学校	卓球	Y	地域指導者	51	150
2	笠田中学校	卓球	T	教員の兼業・兼職	17	70
3	笠田中学校	卓球	M	教員の兼業・兼職	39	145
4	笠田中学校	陸上	N	教員の兼業・兼職	15	45
5	笠田中学校	陸上	T	教員の兼業・兼職	15	45
6	笠田中・妙寺中	陸上	N	地域指導者	92	256
7	妙寺中	バレーボール	T	地域指導者	25	83
8	妙寺中	バレーボール	K	教員の兼業・兼職	21	66
9	ブルッフラ	バレーボール	M	地域指導者	56	149
10	ブルッフラ	バレーボール	T	地域指導者	19	59
11	ブルッフラ	バレーボール	J	地域指導者	6	12

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● 首長部局

- ・事業設計、予算措置
- ・地域住民への広報。教育委員会への指導者等の情報提供

● かつらぎ町教育委員会（教育総務課）

- ・事業立案、コーディネーターの配置
- ・学校（生徒・保護者・教員）、指導者、地域スポーツクラブ等との連絡調整

2. 実証内容と成果

年間の事業スケジュール

時期	計 画 事 項
4月	第1回検討会議の開催（関係者間の顔合わせ、方針の確認） 拠点校における実施準備
5月	地域指導者向け研修会①の実施、教師の兼業兼職にかかる説明会の実施 地域スポーツクラブ活動の活動開始（サッカー、剣道）
6月	保護者アンケートの実施 地域スポーツクラブ活動の活動開始（バレーボール、卓球）
7月	第2回検討会議の開催（進捗状況の報告等）
8月	関係団体ヒアリング（部活動改革、地域スポーツの今後について）
9月	地域指導者向け研修会②の実施
10月	大学生との交流イベントの実施 部活動改革に係るミニフォーラムの実施
11月	第3回検討会議の開催（中間まとめ、検討事項の洗い出し）
12月	地域指導者向け研修会②の実施、教師の兼業兼職にかかる説明会の実施
1月	拠点校・保護者等へのアンケート調査実施
2月	第4回検討会議の開催（成果報告、来年度に向けた検討課題）
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

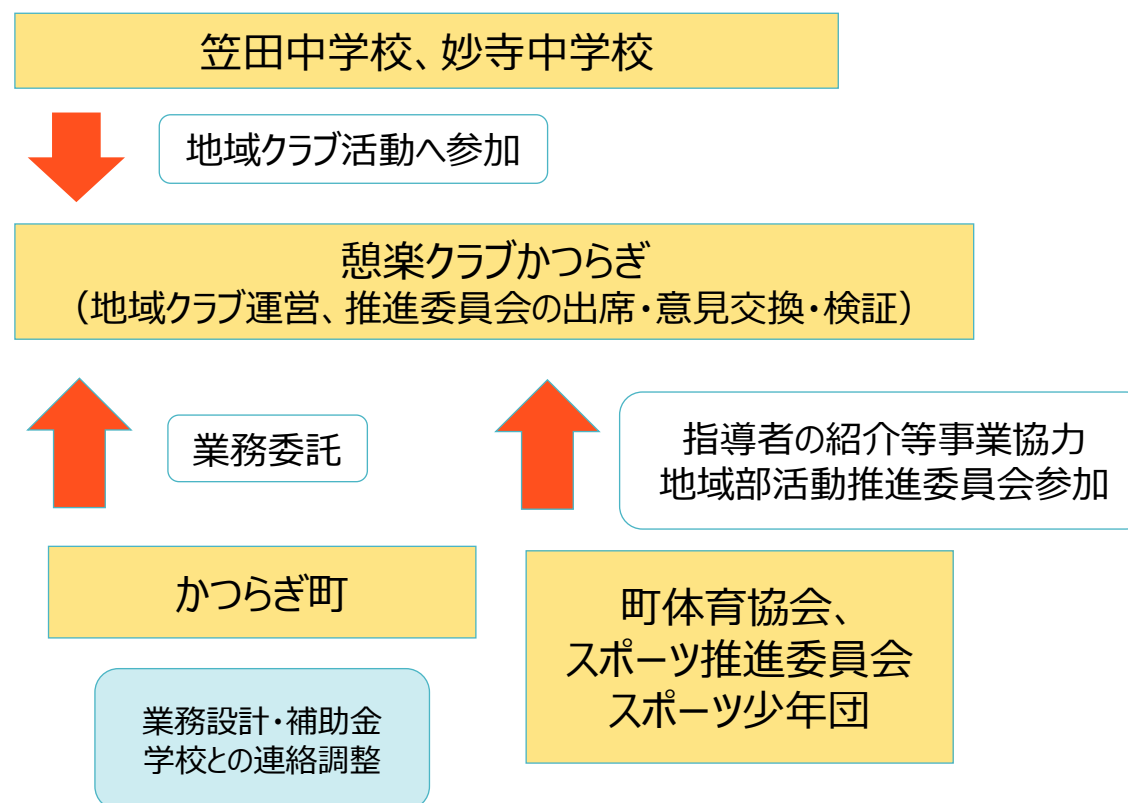
拠点校数	2校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	陸上、卓球、バレーボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	4部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	笠田中学校、妙寺中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	4部活
地域クラブ活動で実施した種目	陸上、卓球、バレーボール
運営主体名	憩楽クラブかつらぎ
運営類型	総合型地域スポーツクラブ運営型
1か月あたりの平均的な活動回数	陸上：月12回程度 卓球：月8回程度 バレーボール：月4回程度
指導者の主な属性	地域指導者
活動場所	笠田中学校、妙寺中学校、かつらぎ公園G
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	陸上：0円 卓球：0円 バレーボール：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 指導者1人あたり：1,200円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

バレーボールチーム（「ブルッフラ」）

取組事項

- ・令和3年かつらぎ町立妙寺中学校教頭が、近隣市町のバレーボール部がない中学校の生徒やかつらぎ町内の中学生に呼びかけチームを設立。
- ・部員は、かつらぎ町10名、橋本市7名、九度山町2名、奈良県五條市1名。
- ・令和5年10月、かつらぎ町の地域部活動として認定。
- ・指導者は、妙寺中学校教頭、奈良県内中学校教諭、大学生。
- ・練習は、週4回程度、午後7時ころから実施。

6月中旬より“小学4.5.6年生の部”活動スタート！

伊都 バレーボール コミュニティ(地域共同体)
ITO VOLLEYBALL COMMUNITY

 **参加者募集** 

このたび和歌山県バレーボール協会伊都支部では、伊都バレーボールコミュニティが中心となり、小学4.5.6年生の皆さんを対象にバレーボール競技のクラブ活動を始めることとなりました。

昨年11月に中学生の部の活動を開始し今年度の和歌山県U-14バレーボールクラブチーム大会において3位の結果を残すことができました。そこで、小学生の皆さんにもバレーボールを楽しむ友達の輪を広げることや将来的に活躍できる選手の育成を目指し活動します。参加者が少数でも活動すると共に、チームを結成して他チームとの合同練習や練習試合、また大会にも参加したいと考えています。

さらにバレーボール競技を通して子どもたちの健全な育成とバレーボールの普及・発展に寄与することを目的とします。

取組の成果

- ・広域的な取り組み（他の市町の生徒間の交流）を行うことができた。
- ・小学校から続けてきたのも関わらず、中学校にバレーボール部がないため活動を止めなくなってきた生徒に引き続き競技に親しむ機会や大会への参加の機会を提供できた。
- ・小学生が多数入部し、底辺の拡大につながっている。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

バレーボールチーム（「ブルツフラ」）

特に 工夫した 事項

- ・かつらぎ町の地域部活動として認定にあたり、教育長が自ら近隣市町の教育長を訪問し理解を求め、快諾を得た。
- ・奈良県五條市立西中学校教諭を本町の指導者として派遣することについて、五條市と当該校から協力を得ることができた。
- ・練習場所として、妙寺中学校を無償で貸し出しを受けた。

今後の 課題と 対応方針

- ・バレーボール部のある近隣市町の中学校顧問や校長からの、「選手を取られる」「自校のクラブが潰れる」等の声に対し丁寧な説明で理解を獲ること。
- ・選手が複数の市町に在住するため、今後も市町間の密な情報交換と連携が必要である。
- ・練習が夜のため、送迎は基本的に保護者であるが、保護者が送迎できない場合の手段の確保。
- ・部費が現在月500円であり、持続可能性の点で課題があり、値上げが必要である。

2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

妙寺クラブ（妙寺中学校 陸上部）

【令和5年度】

- 市町村駅伝出場の新1年生3名から、「新たに陸上部を作ってほしい」「陸上を続けたい」旨の申し出
- ⇒「妙寺クラブ」として設立
- 土曜、または、日曜は、地域指導者の指導で、笠田中で合同練習
- 火曜と木曜は、地域指導者の指導でかつらぎ公園（学校近く）で練習
- 校長が仮のクラブ顧問となり「妙寺中学校」として中体連登録（地域クラブの登録期限切れのため）
- 協会等主催の記録会等には「妙寺クラブ」、中体連大会には「妙寺中学校」として出場
- 伊都地方新人大会、優勝3名、準優勝1名
- 県新人大会800m4位

【令和6年度】

⇒「妙寺クラブ」（地域クラブ）として中体連登録予定



指導者の横顔

- 66歳 順天堂大学出身
- 短距離、跳躍選手として数々の実績あり
- 町内中学校陸上部、市町村駅伝代表チーム指導
- かつらぎ町内の中学校で勤務後、カイロプラクティック院経営

2. 実証内容と成果

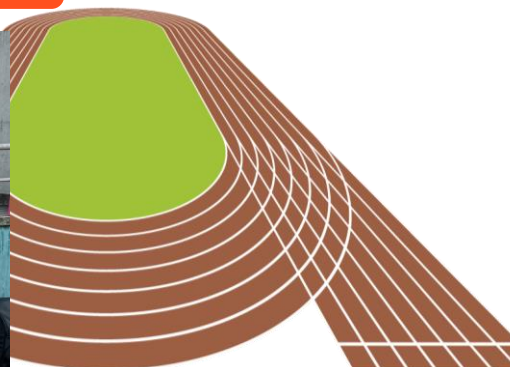
ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

取組事項

妙寺クラブ（妙寺中学校 陸上部）



TRACK & FIELD
ATHLETICS



新聞記事画像

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

妙寺クラブ（妙寺中学校 陸上部）



小学校3年生加入のきっかけ

- ① 偶然母親と公園を訪れ、中学生(小学校の先輩)が練習している姿を見かける
- ② 練習に見入っている姿を見た指導者が声かけ
- ③ 翌週から練習に参加

入部理由

小学校1年生の時のマラソン大会は、新記録で優勝した。2年生の時も、優勝したが、「新記録」が出なかったことが悔しく、陸上を本格的に練習したくなった。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

妙寺クラブ（妙寺中学校 陸上部）

取組の 成果

陸上部がなかった妙寺中学校において、希望する3名の生徒に練習と中体連大会参加の機会を与えることができた。練習については、休日に加え平日2日間（火曜、木曜）地域指導者のもとで練習に取り組んでいる。

3名の中学生の練習する姿に憧れを持った小学校3年生（女子）2名が入部し練習に参加しており、チームに活気が出るとともに、底辺の競技力向上にもつながっている。

特に 工夫した 事項

妙寺中学校の正式なクラブとしては認められておらず、学校では練習できないため、学校外の公園や町立の体育館で練習。練習場所確保のため、施設を管理する町生涯学習課の協力を得るとともに、備品についても無償で貸し出しを受けた。

練習時間が短いため、生徒に「陸上ノート」を毎日書かせることと、日ごろの自主練習のメニューを与えることで、選手としての自覚を持たせるとともにモチベーションの維持に努めている。

今後の 課題と 対応方針

- ・雨天時の練習場所の確保。
- ・指導者資格のある若手指導者の確保。
- ・生徒の移動手段の確保。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第1回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

令和5年度 かつらぎ町立中学校における
部活動の地域移行に関する推進協議会の構成委員（敬称略）

○学識経験者

- ・和歌山大学教育学部教授 矢野 勝
- ・高野山大学文学部教授 鈴木 晴久

○かつらぎ町体育協会

- ・理事長 深田 博美
- ・理事 田中 正起

○かつらぎ町スポーツ推進委員会

- ・会長 門田 敏郎
- ・副会長 東畑 幸子

○かつらぎ町スポーツ少年団町代表者会

- ・会長 池田 達也
- ・副会長 中辻 茂材
- ・副会長 田畑 和也

○NPO法人憩楽クラブかつらぎ

- ・理事 森本 浩文
- ・クラブマネージャー 山下 利香

○町内中学校長

- ・笠田中学校長 鈴木 勉
- ・妙寺中学校長 楠畑 修

○町内中学校PTA代表

- ・笠田中学校PTA会長 水浦 利彦
- ・妙寺中学校PTA会長 吉田 岳司

※(県)教育庁生涯学習局スポーツ課生涯スポーツ班班長 橋爪 信也

※(県)教育庁生涯学習局スポーツ課生涯スポーツ班指導主事 中岡 暁紀

※かつらぎ町教育委員会教育長 池田 八主雄

※かつらぎ町教育委員会教育次長 亀田 昌幸

※かつらぎ町教育委員会生涯学習課長 草田 恒弘

※かつらぎ町教育委員会教育総務課長 九保 秀康

令和5年度 第1回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

令和5年11月20日(月)

19:00~20:30

かつらぎ総合文化会館
研修室

1 開 会

○教育長あいさつ

○出席者自己紹介

○会長選出

2 議 事

○かつらぎ町における部活動の地域移行に関する経緯、課題等

○質 疑

○協 議

4 閉 会

○教育次長あいさつ

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第1回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

部活動の意義

- 生徒のスポーツに親しむ機会の確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感向上、問題行動の抑制、信頼感・一体感の醸成。

部活動の課題

- 近年の急速な少子化の進展により、学校ごとのチーム編成が困難になったり、部活動の競技数が減少。
- 競技経験の少ない教師が指導したり、休日の活動や勤務時間を超えての指導等、教職員の働き方改革の視点から見直しが必要。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第1回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

かつらぎ町の部活動の地域移行に向けた取組

かつらぎ町教育委員会では、こうした課題の解決に向け、令和3・4年度に地域部活動推進事業として、和歌山県内においては、先行して取り組んできました。

そうした経験を活かし、運営団体となる総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等に協力を要請し、地域のスポーツ指導員や退職教員等を指導者として確保できるように支援するなど、段階的に地域で部活動に取り組める体制整備を推進します。そして、休日の地域部活動や合理的で効率的な部活動の展開を図っていきたいと考えています。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第1回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

地域部活動進事業進捗状況 及び今後の見通し		人数	令和4年度							令和5年 10月現在							令和8年度以降								
			月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
笠田中学校	野球 [合同]	9名	教員							教員							地域								
	① 卓球 (男)	12名	教員	地	教員	地域	教員	地	教員	地域	全て地域指導者														
	ソフトテニス (男女)	24名	教員							教員															
	バレーボール (女)	14名	教員							教員															
	バスケットボール (男)	14名	教員							教員															
	吹奏楽	28名	教員							教員															
	② 陸上	14名	教員							教員							教員	地域	教員	地域					
												合同で練習 							休日と平日の一部地域指導者						
妙寺中学校	③ 陸上	3名	教員							地	地					地域	教員								
	野球 [合同]	8名	教員							教員							休日地域指導者								
	卓球 (男)	8名	教員							教員															
	ソフトテニス (男女)	31名	教員							教員															
	④ バレーボール (女)	18名	教員							地域	教員	地	教員	地域											
	バスケットボール (男女)	40名	教員							教員							教員								
	吹奏楽	22名	教員							休部							全て教員								
剣道	0名	教員							地域																
学校外			令和4年度							令和5年 10月現在							令和6年度～								
	⑤ サッカー (笠田ｽﾎﾟｰﾂ少)		地域 (小学生)							地域 (小学生)							地域 (中学生)								
	⑤ サッカー (妙寺ｽﾎﾟｰﾂ少)		地域 (小学生)							地域 (小学生)							地域 (中学生)								
	⑥ バレーボール (小学生)	17名	地域							地域							地域								
	⑥ バレーボール (中学生)	20名	地域							地域							地域								

*1) 令和6年度に向け両チーム監督及び保護者と協議中

*2) 和歌山県バレーボール協会伊都支部参加のクラブチーム

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第1回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

※課 題

- (1) 指導者の確保
- (2) 教員の意識改革
- (3) 管理職の協力（地域指導者受け入れの雰囲気作り）
- (4) 外部人材と教員の間関係
- (5) 保護者の理解と協力
- (6) 中体連登録の障壁
- (7) 国、県からの継続した補助

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第2回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

令和5年度 かつらぎ町立中学校における
部活動の地域移行に関する推進協議会の構成委員（敬称略）

○学識経験者

- ・和歌山大学教育学部教授 矢野 勝
- ・高野山大学文学部教授 鈴木 晴久

○かつらぎ町体育協会

- ・理事長 深田 博美
- ・理事 田中 正起

○かつらぎ町スポーツ推進委員会

- ・会長 門田 敏郎
- ・副会長 東畑 幸子

○かつらぎ町スポーツ少年団町代表者会

- ・会長 池田 達也
- ・副会長 中辻 茂材
- ・副会長 田畑 和也

○NPO法人憩楽クラブかつらぎ

- ・理事 森本 浩文
- ・クラブマネージャー 山下 利香

○町内中学校長

- ・笠田中学校長 鈴木 勉
- ・妙寺中学校長 楠畑 修

○町内中学校PTA代表

- ・笠田中学校PTA会長 水浦 利彦
- ・妙寺中学校PTA会長 吉田 岳司

※(県)教育庁生涯学習局スポーツ課生涯スポーツ班班長 橋爪 信也

※(県)教育庁生涯学習局スポーツ課生涯スポーツ班指導主事 中岡 暁紀

※かつらぎ町教育委員会教育長 池田 八主雄

※かつらぎ町教育委員会教育次長 亀田 昌幸

※かつらぎ町教育委員会生涯学習課長 草田 恒弘

※かつらぎ町教育委員会教育総務課長 九保 秀康

令和5年度 第2回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

令和6年3月7日(木)

19:00~20:30

かつらぎ総合文化会館
研修室

1 開 会

○教育長あいさつ

○会長挨拶

2 議 事

(1)かつらぎ町における部活動の地域移行に関する進捗状況について

(2)部活動の地域移行に関するアンケート結果について

(3)地域移行に関わっての課題及びその対応について

(4)その他

4 閉 会

○教育次長あいさつ

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第2回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

笠田中学校

妙寺中学校

学校外

令和4年度

	人数	月	火	水	木	金	土	日
野球(合同)	9	教員						
①卓球(男)	12	教員	地教	教員	地域/教員			
ソフトテニス(男女)	24	教員						
バレーボール(女)	14	教員						
バスケットボール(男)	14	教員						
吹奏楽	28	教員						
②陸上	14	教員				地域/教員		

	人数	月	火	水	木	金	土	日
③陸上	3	教員						
野球(合同)	8	教員						
卓球(男)	8	教員						
ソフトテニス(男女)	31	教員						
④バレーボール(女)	18	教員			地域/教員			
バスケットボール(男)	40	教員						
吹奏楽	22	教員						
剣道部	0	教員			地域/教員			

令和5年10月現在

	月	火	水	木	金	土	日
野球(合同)	教員						
①卓球(男)	教員	地教	教員	地域/教員			
ソフトテニス(男女)	教員						
バレーボール(女)	教員						
バスケットボール(男)	教員						
吹奏楽	教員						
②陸上	教員				地域/教員		

	月	火	水	木	金	土	日
③陸上	地域	地域			地域		
野球(合同)	教員						
卓球(男)	教員						
ソフトテニス(男女)	教員	地教	教員	地域/教員			
バレーボール(女)	教員						
バスケットボール(男)	教員						
吹奏楽	教員						
剣道部	休部						

令和8年度以降

A すべて地域指導者

平日	休日
地域	

B 平日の一部と休日は地域指導者

平日	休日
教員	地域
地域	地域

C 休日は地域指導者

平日	休日
教員	地域

D 教員が部活動を指導

平日	休日
教員	



令和6年度以降(協議中) 地域 (中学生)

和歌山県バレーボール協会伊都支部
クラブチーム
かつらぎ町・橋本市・九度山町・五條市

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第2回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

【生徒】部活動の地域移行に関するアンケート結果					
令和6（2024）年1月実施					
1 あなたが参加している部活動は何ですか。					
笠田陸上	9	笠田卓球	7	妙寺バレー	6
妙寺陸上	3	ブルワフ	14	計	39
2 地域の方（あなたが通う学校の先生以外の方）の指導を受けて、どのように感じていますか。					
(1) 満足		(2) 少し満足		(3) どちらでもない	
笠田陸上	6	笠田陸上	1	笠田陸上	1
笠田卓球	6	笠田卓球		笠田卓球	1
妙寺バレー	4	妙寺バレー	1	妙寺バレー	1
妙寺陸上	3	妙寺陸上		妙寺陸上	
ブルワフ	10	ブルワフ		ブルワフ	4
計	31	計	2	計	7
(4) 少し不満		(5) 不満			
笠田陸上	1	笠田陸上			
笠田卓球		笠田卓球			
妙寺バレー		妙寺バレー			
妙寺陸上		妙寺陸上			
ブルワフ		ブルワフ			
計	1	計	0		
3 地域の方の指導を受けて（地域部活動に参加して）良かったと思うことがあれば、お答えください。（複数回答可）					
(1) 専門性の高い指導を受けられた		(2) 技術力が向上した		(3) 地域の指導者と学校の先生から指導が受けられた	
笠田陸上	6	笠田陸上	6	笠田陸上	
笠田卓球	5	笠田卓球	5	笠田卓球	2
妙寺バレー	4	妙寺バレー	3	妙寺バレー	5
妙寺陸上	3	妙寺陸上	3	妙寺陸上	
ブルワフ	12	ブルワフ	14	ブルワフ	5
計	30	計	31	計	12
(4) 現在通っている中学校にはない種目を体験できた		(5) 他校の生徒との交流ができた		(6) 地域クラブから試合・大会に参加できた	
笠田陸上		笠田陸上	3	笠田陸上	
笠田卓球		笠田卓球	1	笠田卓球	1
妙寺バレー	1	妙寺バレー		妙寺バレー	
妙寺陸上	3	妙寺陸上	1	妙寺陸上	3
ブルワフ	5	ブルワフ	14	ブルワフ	6
計	9	計	19	計	10

(7) その他					
笠田卓球	休憩時間でもコーチが教えてくれて、とてもうまくいった。				
妙寺バレー	地域の指導者の方が、サーブを打つ時のフォームや、レシーブをする時のコツなどをしっかりと教えてくれた。できなかったことが今では出来る様になったり、苦手なことでも、少しずつできるようになってきました。あきらめない精神が良かったです。				
妙寺陸上	走ることが大好きな僕にとって、中学校でも部活として真剣に取り組むことができて嬉しかった。何か相談したいことがあったら、すぐに相談のしてもらえるので、安心して陸上に打ち込むことができる。自分はずっと陸上をしたいと思っていたので、地域クラブでそれが実現できて、とても嬉しかった。				
ブルワフ	色々なチームと試合をして経験を積めたり、とても良い指導をもらったおかげで、技術力・人間力・チーム力やコミュニケーションなど色々なことが上りました。指導者の人と選手の仲もとてもいいので指導も受け入れやすく共感できます。初めの頃より他の生徒との交流が多くなったし技術力が上がったと思います。秋の大会で声をかけてもらって、もっと強くなりたいと思って入って、たまにはきびしいけど、皆と笑いあったり、2カ月でめっちゃ強くなって、他校の子達とも出会えたことです。あきらめない事や続ける事の大切さを学ぶことができました。コミュニケーションができるようになった。一年間でトスアップが上手になったと思った。コミュニケーションが少しずつできるようになった。あきらめない精神の事などが分かった。メンタルが強くなってとてもいいと思う。学校では教えてもらえないことをたくさん教えてくれる。メンタルが鍛えられた。複数の考えを知り、自分自身でも様々な考え方ができるようになった。人間性が高まった。				
4 地域の方の指導を受けていて、不安に思うことや課題と感ずることがあれば、お答えください。（複数回答可）					
(1) 不安や課題はない		(2) 地域の指導者と学校の先生の指導方針の違い		(3) 活動場所が遠い、移動時の交通の便が悪い	
笠田陸上	8	笠田陸上	1	笠田陸上	
笠田卓球	7	笠田卓球		笠田卓球	
妙寺バレー	6	妙寺バレー		妙寺バレー	
妙寺陸上	3	妙寺陸上		妙寺陸上	
ブルワフ	10	ブルワフ	4	ブルワフ	5
計	34	計	5	計	5
(4) 保護者の仕事の都合などで、送迎が難しい時がある		(5) 事故発生時の対応		(6) 学校の部活より費用がかかる	
笠田陸上		笠田陸上		笠田陸上	
笠田卓球		笠田卓球		笠田卓球	
妙寺バレー		妙寺バレー		妙寺バレー	
妙寺陸上		妙寺陸上		妙寺陸上	
ブルワフ	3	ブルワフ		ブルワフ	2
計	3	計	0	計	2
5 今後も地域の方の指導を受けたいと思いますか。					
(1) 受けたい		(2) どちらでもない		(3) 受けたくない	
笠田陸上	3	笠田陸上	5	笠田陸上	1
笠田卓球	7	笠田卓球		笠田卓球	
妙寺バレー	6	妙寺バレー		妙寺バレー	
妙寺陸上	3	妙寺陸上		妙寺陸上	
ブルワフ	10	ブルワフ	1	ブルワフ	
計	29	計	6	計	1

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第2回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

【保護者】部活動の地域移行に関するアンケート結果					
令和6（2024）年1月実施					
1 お子様に参加している部活動は何ですか。					
笠田陸上	8	笠田卓球	5	妙寺バレー	7
妙寺陸上	1	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	13	計	34
2 お様が地域の方（お様が通う学校の教員以外の方）の指導を受けていることについて、どのように感じていますか。					
(1) 満足		(2) 少し満足		(3) どちらでもない	
笠田陸上	5	笠田陸上	2	笠田陸上	1
笠田卓球	4	笠田卓球		笠田卓球	1
妙寺バレー	4	4 妙寺バレー	3	妙寺バレー	
妙寺陸上	2	妙寺陸上		妙寺陸上	
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	13	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ		ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	
計	28	計	5	計	2
(4) 少し不満		(5) 不満			
笠田陸上		笠田陸上			
笠田卓球		笠田卓球			
妙寺バレー		妙寺バレー			
妙寺陸上		妙寺陸上			
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ		ﾌﾞﾙｯﾌﾟ			
計	0	計	0		
3 お様が地域の方の指導を受けて良かったと思うことがあれば、お答えください。（複数回答可）					
(1) 専門性の高い指導を受けられた		(2) 技術力が向上した		(3) 地域の指導者と学校の先生の複数から指導が受けられた	
笠田陸上	5	笠田陸上	4	笠田陸上	4
笠田卓球	1	笠田卓球	3	笠田卓球	
妙寺バレー	5	妙寺バレー		妙寺バレー	4
妙寺陸上	2	妙寺陸上	1	妙寺陸上	
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	10	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	10	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	6
計	23	計	18	計	14
(4) 現在通っている中学校にはない種目を体験できた		(5) 他校の生徒との交流ができた		(6) 地域クラブから試合・大会に参加できた	
笠田陸上		笠田陸上		笠田陸上	2
笠田卓球		笠田卓球	1	笠田卓球	
妙寺バレー		妙寺バレー	2	妙寺バレー	
妙寺陸上	1	妙寺陸上		妙寺陸上	1
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	4	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	12	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	3
計	5	計	15	計	6

(7) その他					
妙寺陸上	子供たちの「陸上部で走りたい」という思いを叶えていただきありがとうございます。毎日うれしそうに陸上部の話をしてくれるのを聞いていると支えていただいている皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。子供が走っている姿を見ていると私まで元気をもらえます。（学校のクラブではなかなか見ることができない）子供が好きな事ができた。				
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	通っている中学校にやりたいバレーボール部（スポーツ）がなかったので、地域クラブでバレーボールができると知って良かったです。部活以上の技術力、指導がとても魅力です。これ以上ないチームワークを見る事が出来たのですごく良かったです。スポーツの技術が身につけて社会性も学べていると思います。中学生がスポーツなどの部活動等で活発に活動することは、成長していく時期に必要なことだと思います。子が参加させてもらって親としては感謝しています。				
4 お様が地域の方の指導を受けていて、不安に思うことや課題と感ずることがあれば、お答えください。（複数回答可）					
(1) 不安や課題は特にならない		(2) 地域の指導者と教員の指導方針の違い		(3) 活動場所が遠い、移動時の交通の便が悪い	
笠田陸上	6	笠田陸上	1	笠田陸上	2
笠田卓球	3	笠田卓球		笠田卓球	1
妙寺バレー	4	妙寺バレー	3	妙寺バレー	
妙寺陸上	2	妙寺陸上		妙寺陸上	
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	5	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	3	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	2
計	20	計	7	計	5
(4) 保護者の仕事の都合などで、送迎が難しい時がある		(5) 事故発生時の対応		(6) 費用負担	
笠田陸上	2	笠田陸上		笠田陸上	
笠田卓球	1	笠田卓球	1	笠田卓球	1
妙寺バレー		妙寺バレー		妙寺バレー	
妙寺陸上		妙寺陸上		妙寺陸上	
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	7	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	2	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	1
計	10	計	3	計	2
(7) その他					
笠田陸上	課題はわからないが、急に関係性のない方からの指導になることは不安。				
妙寺陸上	もう少し人数が集まれば、もっと子供たちにとって良いのではと思います。仲間が増えればもっと輝いて、今以上に成長していくことと思います。				
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	先生の好意に甘えて、送迎を任せていること。ガソリン代として（送迎を任せている人は、）別で交通費を徴収してもらっても良いと私は思います。				
5 今後も地域の方の指導を受けたいと思いますか。					
(1) 受けたい		(2) どちらでもない		(3) 受けたくない	
笠田陸上	5	笠田陸上	3	笠田陸上	
笠田卓球	3	笠田卓球	2	笠田卓球	
妙寺バレー	7	妙寺バレー		妙寺バレー	
妙寺陸上	2	妙寺陸上		妙寺陸上	
ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	13	ﾌﾞﾙｯﾌﾟ		ﾌﾞﾙｯﾌﾟ	
計	30	計	5	計	0

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度 第2回かつらぎ町立中学校における部活動の地域移行に関する推進協議会

【兼業兼職の教員】部活動の地域移行に関するアンケート(R.6(2024).1実施))

1 あなたが指導している部活動は何ですか。卓球：2 陸上：2 バレーボール：2

2 あなたと指導する生徒との関係は、どのように感じていますか。

(1) かなり良好 (2) 良好 6

(3) 少し良好でない (4) 良好でない

3 あなたと一緒に指導する地域指導者との関係は、どのように感じていますか。

(1) かなり良好 (2) 良好 6

(3) 少し良好でない (4) 良好でない

4 生徒が地域の方の指導を受ける様子は、どのように感じましたか。

(1) 楽しく充実している様子である 3

(2) まあまあ楽しく充実している様子である 3

(3) あまり楽しく充実している様子ではない

(4) 全く楽しく充実している様子ではない

5 地域の方と一緒に指導することでの部活動への負担感について、負担が減った点と

増えた点があれば、お答えください。

(1) 負担が減った点

○賃金面では、少しメリットがあった

○専門的な指導をしてもらえる。主顧問がいない日でも安心して部活動ができる。

(2) 負担が増えた点

○活動内容についての報告書。

○練習計画や変更について、指導者や教育委員会と連絡すること。

○地域指導者の日程に合わせて練習計画を立てなければいけないこと。

6 今年度（地域の方と一緒に）指導を行うなかで、課題や改善すればよいと思うことが

あれば、お答えください。

○報告書の簡素化

○現在は指導者も本校の様子をよく知り、お互い連携しやすいが、一般の人となった時、連携面で不安である。

○完全移行にむけて、いつまでにどのような形にするか目安を教えてください。

○指導日数が増えれば、さらによくなると思います。基本的には土日の指導なので、継続的な練習

や指導が難しく感じる場合があります。地域の方にしか気づけないところがあるので、多くの

回数見てもらえると良くなると思います。

【地域指導者】部活動の地域移行に関するアンケート(R.6(2024).1実施))

1 あなたが指導している部活動は何ですか。卓球：1 陸上：1 バレーボール：3

2 あなたは週に何回程度の指導を行っていらっしゃいますか。

1回：1 2回：2 3回：1 4回：1

3 あなたと指導する生徒との関係は、どのように感じていますか。

(1) かなり良好 2 (2) 良好 2

(3) 少し良好でない (4) 良好でない (5) よく分からない 1

3 あなたと一緒に指導する教員や他の指導者との関係は、どのように感じていますか。

(1) かなり良好 2 (2) 良好 2

(3) 少し良好でない (4) 良好でない (5) よく分からない 1

4 指導を行うなかで、負担に感じることや課題と感ずることがあれば、お答えください。

○負担に感じることは特にありませんが、週1回程度の指導であるため、生徒や指導される教員との人間関係が当初は手探りの状態でしたが、教育委員会の協力や支援もあって練習内容や技術的なことの内容まで共有できるようになってきたと感じられる。

○生徒個々の部活動に対する考え方や目標を、指導者が明確にくみ取り、強制するような指導になってはいけないと考えている。また、個々のレベルにあった指導を行い、勝利優先的な指導も考えなければならない。今のところ、指導に対して不安を感じることはありません。しかし生徒の体調や家庭環境の問題は、顧問の先生と連絡を密にして考慮し、練習の指導に反映していく必要性を感じている。

○バレーボールを「やりたい」「もっと上手になりたい」と思って活動している子ども達です。子ども達の向上心や保護者のみなさんはとても協力的です。負担や課題は現時点では特にはありません。

○負担に感じていることは特にありません。一緒に指導する教員や生徒のやる気や情熱を感じ

ながら日々指導に携わっている。

5 一緒に指導している教員や教育委員会等に希望することがあれば、お答えください。

○一緒に指導している教員や教育委員会等に希望することは特にありません。本年度は、更に良い関係を築き、部活動の地域移行が良い展開になるように貢献していきたい。

○生徒の環境・性格・クラブへの取り組みや考え方などを、無視しての指導はあり得ないと考えている。よって、ただクラブ指導だけを指導すれば良いという考え方は、今後、色々な事象を発生させる可能性があることを委員会として一番考慮する必要があると言える。指導の方向性や生徒への取り組み方は、顧問や保護者との密接な連携が要求されると考える。

○教育委員会の全面的なご協力とご理解をたいへん感謝しております。引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）

笠田中学校 卓球部



指導者の横顔

- 43歳 県内のスーパー勤務
- 夜勤明けの水曜日と土曜日を
中心に指導
- 自身も現役選手として
地域の大会に出場

妙寺中学校 バレーボール部



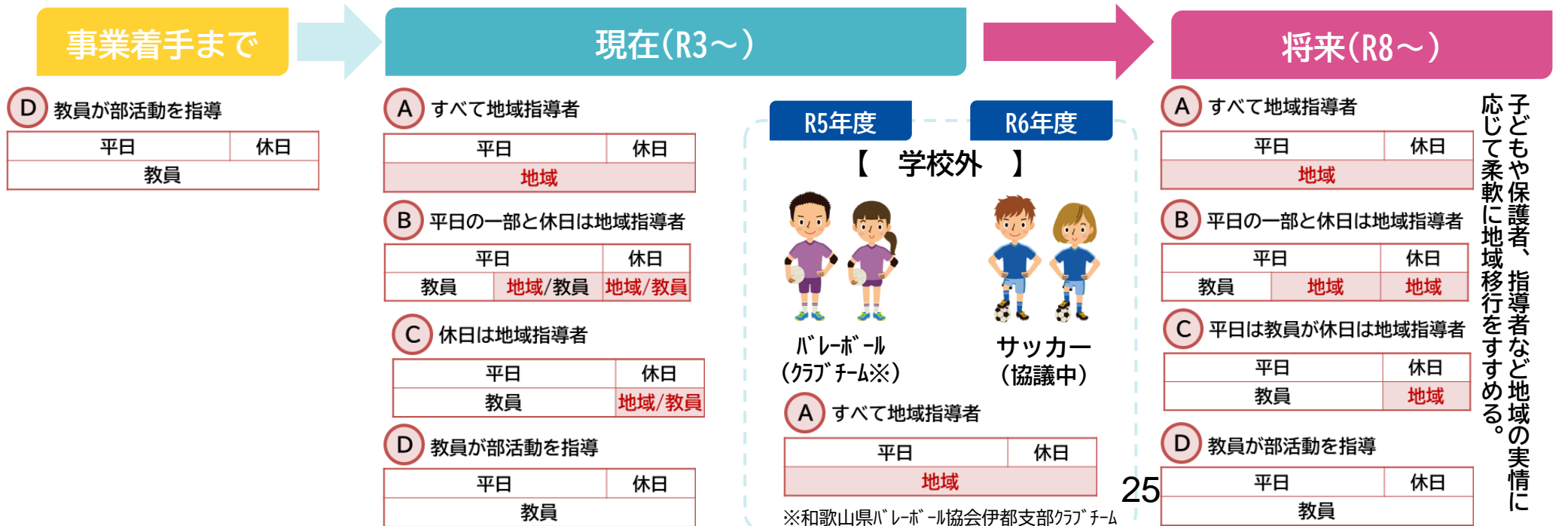
指導者の横顔

- 66歳 中央大学出身
- 和歌山県内公立高校勤務後、
現在非常勤講師
- 県内県立高校のバレーボール部
（主に女子）指導
- A級審判（春高バレー審判員等）、
県専門委員長

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

- 令和3年度から地域部活動推進事業として、和歌山県内においては、先行して取り組みを開始
- 運営団体となる総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等に協力を要請し、地域のスポーツ指導員や退職教員等を指導者として確保できるように支援
- 段階的に地域で部活動に取り組める体制整備を推進
- 休日の地域部活動や合理的で効率的な部活動の展開を図っている



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

笠田中学校

妙寺中学校

学校外

		令和4年度						
	人数	月	火	水	木	金	土	日
野球(合同)	9	教員						
①卓球(男)	12	教員	地教	教員	地域/教員			
ソフトテニス(男女)	24	教員						
バレーボール(女)	14	教員						
バスケットボール(男)	14	教員						
吹奏楽	28	教員						
②陸上	14	教員				地域/教員		

		令和5年10月現在						
	人数	月	火	水	木	金	土	日
③陸上	3	教員						
野球(合同)	8	教員						
卓球(男)	8	教員						
ソフトテニス(男女)	31	教員						
④バレーボール(女)	18	教員			地域/教員			
バスケットボール(男)	40	教員						
吹奏楽	22	教員						
剣道部	0	教員			地域/教員			

		令和8年度以降						
	人数	月	火	水	木	金	土	日
⑤サッカー(笠田スポ少)		地域(小学生)						
⑤サッカー(妙寺スポ少)		地域(小学生)						
⑥バレーボール(小学生)	17	地域						
⑥バレーボール(中学生)	20	地域						

		令和5年10月現在						
	人数	月	火	水	木	金	土	日
野球(合同)	9	教員						
①卓球(男)	12	教員	地教	教員	地域/教員			
ソフトテニス(男女)	24	教員						
バレーボール(女)	14	教員						
バスケットボール(男)	14	教員						
吹奏楽	28	教員						
②陸上	14	教員				地域/教員		

		令和8年度以降						
	人数	月	火	水	木	金	土	日
③陸上	3	教員						
野球(合同)	8	教員						
卓球(男)	8	教員						
ソフトテニス(男女)	31	教員						
④バレーボール(女)	18	教員	地教	教員	地域/教員			
バスケットボール(男)	40	教員						
吹奏楽	22	教員						
剣道部	0	休部						

		令和8年度以降						
	人数	月	火	水	木	金	土	日
⑤サッカー(笠田スポ少)		地域(小学生)						
⑤サッカー(妙寺スポ少)		地域(小学生)						
⑥バレーボール(小学生)	17	地域						
⑥バレーボール(中学生)	20	地域						

A すべて地域指導者

平日	休日
地域	

B 平日の一部と休日は地域指導者

平日	休日
教員	地域
地域	地域

C 休日は地域指導者

平日	休日
教員	地域

D 教員が部活動を指導

平日	休日
教員	



令和6年度以降(協議中) 地域 (中学生)

和歌山県バレーボール協会伊都支部
クラブチーム
かつらぎ町・橋本市・九度山町・五條市